

特集！！ハルちゃんが行く！！

～高知県立林業学校卒業生の活躍～

高知県立林業学校の第1期生が平成28年4月から県内の林業事業体に就職して日々働いています。須崎林業事務所では、林業普及活動のひとつとして、就労後のフォローアップを行ってきました。今回は須崎林業事務所管内で頑張っている卒業生のみなさんの活躍を紹介します。



ハルちゃん

林業の活性化には、担い手の育成が不可欠です。一方で、林業の現場は危険な作業も多く、未経験者が就労するにはハードルが高い一面もあります。そんな中、高知県立林業学校では、1年かけて林業の基礎を学び、仕事に必要な資格を取得し、現場で即戦力となる人材を育成しています。

第1期生は東京都や兵庫県など、全国各地から若者が集まり、14名が卒業しました。全員が県内の林業事業体に就職し、うち7名が須崎林業事務所の管内（須崎地区森林組合、津野町森林組合、四万十町森林組合、(株)はまさき）に就職し、1年が経ちました。

須崎林業事務所は、卒業生に安心して働いてもらうため、平成28年度の普及活動の取り組みのひとつとして、1年間にわたりフォローアップを行いました。定期的に林業現場を訪問し、困っていることは無いかなど、聞き取りを通して見守ってきました。



「林業学校在学中にひと通りの資格や免許を取得したので、すぐに現場で機械を使って仕事のできたのが良かった」、「林業作業の大変さについては在学中に覚悟ができていた」、「夏場の仕事は過酷で痩せた。でも健康的になった」、「歳が近い先輩が多いので話しやすく、作業の連携も良い」など、働いてみての感想や考えを聞かせてくれました。また、昼休みを削って林業機械の操縦の練習をするなどして、早く一人前になろうと、それぞれが努力をしています。

先輩作業員は、「大変な仕事をよく頑張っている」という声の一方で、「まだまだ作業中の危険予知が足りない」と厳しい目をしていました。

これからも同期の仲間との繋がりを大切にしながら、それぞれの仕事場で活躍してくださいね。今年も4月から、4名の第2期卒業生が須崎林業事務所管内で働き始めました。これからも須崎林業事務所は林業で働く若者をサポートしていきます！